

TAKAHATA

めがね

いつもの景色、知っていることも、
人の目を通してみると、少し違って見えるかも。







浜田広介記念館／歴代地区

はじめに

「めがねを通して見る高畠」

たかのためがねでは、

高畠をいつもと違う角度からのぞいて、

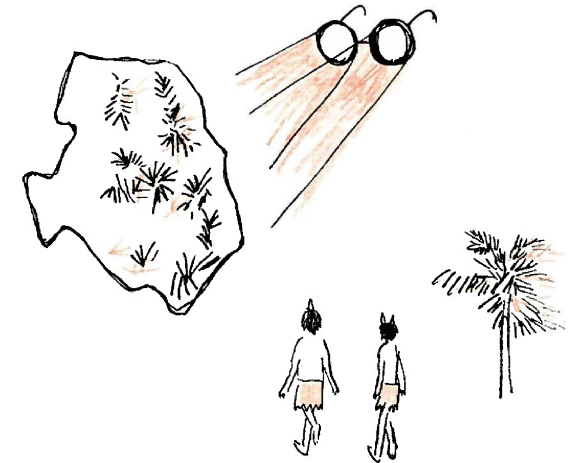
知らない、おもしろい、楽しいを見つけます。

この本の記者 フルハタ マリコ

平成27年10月に埼玉県から高畠町に移住。

高畠町地域おこし協力隊として過ごした2年半、

さまざまな角度で高畠をのぞきました。



もくじ

- 03 はじめに
- 07 ここには、どんな地域があるの？ 高畠蛇足辞典
- 09 教室に集合！ 懐かしのHR
- 11 ゆっくり時間がすすむ わたしの秘密基地
- 13 肴に小啜はいかが 酒処まほろば
- 17 『楽しい』はつくれる！ TEAM☆TAKAHATA
- 18 本棚をのぞいてみたら もう一度読むひろすけ童話
- 19 知っているようで知らない ヒモトク マホロボ タカハタ
- 25 いつまでもキミの心に！ 学校名鑑
- 26 staff



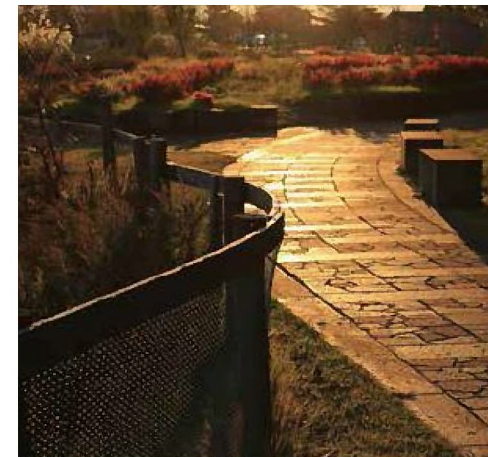
富士山／和田地区／Photo by Yosiyuki Minagawa



一の宮神社／魚岡地区



たまねぎ畑／猿野目地区

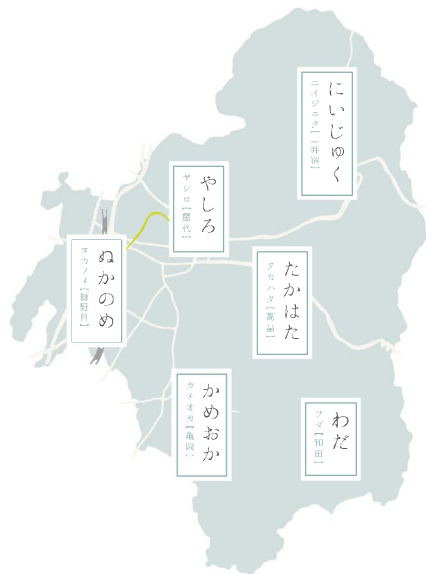


まほろば古の里歴史公園／高島地区／Photo by Norikazu Sato

大滝／二井宿地区

ここにはどんな地域があるの？

高畠 蛇足 辞典



明治22年、村々の大合併により、6つの新村ができました。
そして昭和30年、高畠町ができ、村はそれぞれ高畠町の地区となりました。
ここでは、記者がのぞいた地域を紹介します。

たかはた タカハタ(高畠)

高畠町のほぼ中心に位置する地区。まちの約三割が住み、町の施設や商業施設が集まる。三重塔に代表される数多くの文化遺産がある。

昭和縁結び通り商店街の昭和5号館の時計はいつも3時を指しており、右斜め向かいにある「おばこや」がおやつタイムをすすめてくれる。

「おばこや」のあつあつほくほくのおばこ焼きとおばこちゃんのおばこ焼も高畠の大事な無形文化財だ。



おばこや/高畠地区

にいじゆく ニイジユク(二井宿)

高畠町の北東部に位置し、宮城県七ヶ宿町に隣接する地区。かつて山形県に入る最初の宿場町として栄えた。

軽くつぶしたご飯の上にくるみみそをつけ、いろりて焼いた「たんぼもち」がうまい。十一月の下旬、筋里山直売所の感謝祭では山菜汁、漬物と一緒に無料でふるまわれる。寒い中、地元の人とおしゃべりしながら食べる。体と心があたたまる休息所だ。



やしろ ヤシロ(屋代)

高畠町の北西部に位置する地区。国指定史跡の縄文遺跡が残る。ふどうやラ・フランスの栽培も盛ん。童話作家の浜田広介の出身地。

浜田広介と同時代に生き、日本海軍の戦艦「雷」の艦長、工藤俊作の出身地でもある。工藤はジャワ島で敵兵であるイギリス軍が漂流している様子を見て救助の指令を出す。艦内は一瞬騒然となったが、全員で救助を行い、四百二十人の命を救う。屋代は誰とでも友達になれる人を生む土地だ。

かめおか カメオカ(亀岡)

高畠町の南西部に位置する地区。日本三文殊の1つである亀岡文殊があり、初詣や受験期に賑わう。

亀岡文殊の南、西来院をさらに南に行くと、「蔵蔵山」があるが賑わうことはない。岩山の頂上までは、わずかに3分。頂上は、亀岡の田園風景を独り占めすることができる。下山し、地域の人に声をかけるとその岩山が西来院の本山であったこと、奥には風来神があり、昔はまつりが行なわれていたことなどを教えてくれる。帰りは旧江戸街道を進むのがオツた。

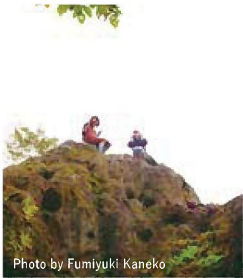


Photo by FumiYuki Kaneko

わだ ワダ(和田)

高畠町の南部に位置し、奥羽山脈が連なる。有機農業の先進地であり、松茸が収穫できる。上和田の南東にある豪士山、駒ヶ岳は「やまがた百名山」に選定された。

豪士山は標高1022mの山だ。世界遺産白神山はブナの原生林が有名だが、豪士山にもブナの原生林が広がっている。頂上付近にまだ雪の残る5月に、豪士山の会のメンバーがチェンソーを持って山を登り整備を行なう。豪士山とそこを登る者たちは、その名のとおり、強くたくましく、美しい。

ぬかのめ ヌカノメ(糠野目)

高畠町の西部に位置する地区。JR高畠駅があり、駅前新しい住宅が立ち並ぶ。町内外からの転入者も多い。

昔から糠野目地区に住んでいる人もいる。糠野目の建設会社の若旦那たちは「糠野目はいいところ」と教えてくれた。かっぱの詫状文があることも教えてくれた。でも実際に見ることはできないらしい。後日、糠野目のメンバーが多く活躍する商工会青年部のみこし作りに行くと、この町をギラギラと照らすイルミネーションが施されたみこしが作られていた。かふき者のメンバーそのものを表しているようだ。



20代の先輩たちからメッセージ



20代のトークの様子、
新成人へのメッセージ動画が
見られるよ！読んでみてね！

咲「(温温)ぬくぬく。人があったかがい一番ですけど、温泉もあるし。全部あったかい」
百「(元氣)地域を盛り上げるのに力を入れている町だなんて。住んでいる人が元氣じゃないとできない。元氣の源が多い。おいしい食べ物とか温泉がいっぱいある」
悟「(自然)田舎でしかできないことの大きいポイントで自然があって。最近、高島で農業する若い人も増えているし。自然に携わる活動とかアピールすればいいんじゃないかな」
重「(流行)はやりって読みます！スポーツ的なところがあるし、たくさんある。今風にできるとも思うこともたくさんあるし、振り下げて地域に根付いているものを発信していくともっといい町になるんじゃないですかね」

高島を漢字2文字で

「納豆もちは無敵?!」
百「もちと言えは?納豆!」(給食に高島納豆が出る!)
咲「出た出た!」
百「高島納豆」好きなんですけど、給食ではタレがついてこなくて」
悟「どうやって食べるの?」
百「そのまま食べるか、おみつけが出たときはそれを混ぜる」
悟「高島高島じゃん!」
百「中学校で大豆を育てて、できたらプロに納豆してもらってます。納豆のパッケージをわたしたちが書いて、受験生にプレゼントするって思い出あります」
悟「納豆に対してすごいストイックだね(笑)」
百「もちもそうだけど高島、おいしいものがたくさん!」

ホームルーム
懐かしのHR

教室に集合!

高島出身在住の20代に
「高島」をテーマにトークイベントを開催しました。

ずっと気になっていた高島のアレ

「知っているようで知らない商店街」
悟「昭和資料館の中」。映画のポスターが貼ってある店って中どうなってるんだろうって」
咲「高砂屋」ね。めっちゃおいしいスパゲッティあるよ」
重「ガラスにカメラが並んでいる」金計堂「(気になります)」
悟「前そこで、CD買ったよ。青竹ちゃん祭りの帰りに」
悟「蔵のヤブンジ」は農家御用達。すげーレアなの売ってるんだよ」
百「あー通学路にあった!中に入ったことないけど」
悟「ホームセンターにない規格のものとか売ってるんだよ。農家の最終手段」
「冬の石切場」
重「(石切場)。実は最近、写真を撮りに行ったんですよ」
咲「冬の石切場は行ったことない。めっちゃ気になる」
重「冬行ったほうがいいですよ!長靴履いて。石切場の奥に行く。洞窟あるじゃないですか。上から水がぼつぼつ落ちてって、それが上に積もっていったんです」
百「へえー!冬の石切場すごい!めっちゃ行きたい!」

重丸くんが撮った写真。石切場(瓜割石庭公園)



昭和縁結び通り商店街
については、
わたしの秘密基地をcheck!

たかはたあるある

「もちはつくだけじゃない!!」
咲「(もちつき)。学校でやるよね?」
重「小学校の授業参観でやった」
咲「そうそう。もちつき文化あるよね。学校でもち米を作って、それをもちにして食べる」
悟「地区で田植え終わった時期に、もちつくんだよね。杵と臼4つくらい持ってきてさ、そんなにいらんだけ(笑)で、若いやつらは、ひたすらこねる。つくのはデモンストレーションだからね」
咲「わたしたちは、ほほほできあがっているのしか、もちつきってしたことないよね。それまでに血のじむうなこねる作業があるんだよね」
悟「こねるのがダメだと、ついでに人に怒られるんだ」
重「え、俺はっ!はっ!って、もちをこねたい!」
悟「むずいよ。ちゃんとグツと力を入れないと怒られるんだよ!」
重「めっちゃ怒られてるんですね(笑)」

冬の石切場、めっちゃ行きたい!



お話をしてくれたみなさん!

いのうえ さとし
井上 悟志
(26歳 歴代出身 農家)



かんの しげまる
菅野 重丸 さん
(22歳 高島 学生)



かとう ももか
加藤 百花 さん
(22歳 高島 会社員)



かとう きさほ
加藤 咲穂 さん
(26歳 和田出身 公務員)



page cafe

高島町福沢459-3
(ブックユニオンたかはた店内)
営業時間/
page cafe 11:00~20:00 不定休
book union 10:00~21:00 無休
TEL/0238-57-4888

ガトーショコラ
(450円/飲み物とセット400円)

カフェラテ (500円)
米粉でしっとり甘さひかえめなガトーショコラ、
あったかカフェラテは読書にぴったり。



じっくり選んだ旬の本を
買ってゆっくり読書。
一目ぼれした雑貨も買っちゃった。

04

ぎっちゃんカフェはる

高島町下和田2405-1
営業時間/11:30~15:00(L.O.)
ランチは要予約
定休日/日曜日、月曜日
※冬季休業
TEL/0238-56-2051



ケーキ盛りセット (700円)
地元で採れた季節の果物と自慢のシ
フォンケーキを主に、贅沢に3種類の
デザートを楽しむ。

いつも頑張っている自分にご褒美を。
食育の専門家はるさんに食生活のアドバイスを
もらい、心も体も元気になるの。

たかはたメモリー
高島の町づくりに
挑戦した者たちから
未来のメッセーじ。



KEY WORD



高砂屋珈琲店
「映画館」



金計堂本店
「カメラ」



ヤブンジ荒物店
「山交高島線」

シフォンケーキ専門店
にんまる

高島町時沢527
営業時間/10:00~16:00
イートイン 11:00~
※先切次第終了
定休日 火曜日
TEL/0238-52-0872



シフォンケーキ4種
たべくらベセット (800円)
ドリンク付き
5種以上あるシフォンケーキは、山
田錦卵の紅花卵を使ったココのある
優しい味わい。

今夜のホームパーティ、手土産は、
にんまるのシフォンケーキで
間違いなし!!

03

手作り小物に挑戦中。
店内に並ぶ作品を見て
イメージをふくらませる。

café gallery美蔵

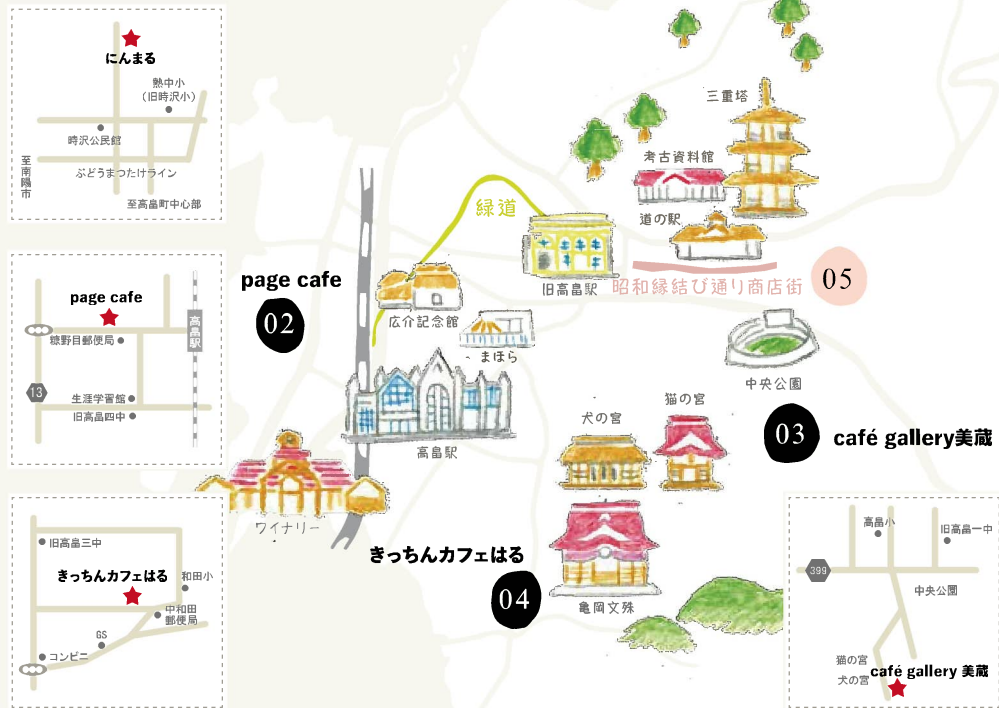
高島町大字高安911
営業時間/11:00~14:00
17:00~20:00(ディナータイム要予約)
定休日/月曜日、火曜日
TEL/0238-52-3856

美蔵オリジナルケーキセット (700円)
郷土料理のつもの巻きをイメージしたみそシフォンは、
和田の米粉、手作りみそを使って優しい味に。



わたしの秘密基地

友達と話すのが趣味、創作するのが趣味。
趣味の時間を過ごす秘密基地を知っていればもっと楽しくなる。



01 にんまる

05

03 café gallery美蔵

04

05

昭和縁結び通り
商店街



ことばはじめ
平成四年へにはな国体を
きっかけに高島商店会のま
ちづくりが花畑えからはじ
まりました。数年後、東京
オリンピックの開催、商店
街ができたばかりであった
昭和三十年頃をテーマとし
た通りを目指すことに。店
ごとに資料館を設け、商店
街を回ってもらうコミュニ
ケーションの場所として、
昭和縁結び通り商店街は誕
生しました。

二十四代四人による春夏秋冬
お酒のお供エピソード。

酒処 まほろば



Photo by Ryo Yamamoto

酒処まほろば 夏

大学のサークルを通して米沢にて地域活動をしていた私は思い立ち、子ども遊びブースを青竹ちようちん祭りでお店させていただくことになりました。

折角ならば一緒に米沢のメンバーにも祭り以外でも高畠を楽しんでもらおうと考え、高畠観光をすることに。私はそのときの高畠観光を通して感じたことをお伝えします。

改めて考えると、高畠の良さを伝えるにはどうすればいいんだろ？高畠にくらしてはや二十一年、ある程度は思いつくが、地元に住んでいたらこそ、外から地元の良いところを見る機会がなく、恥ずかしながら具体的に良さを説明できるほど高畠の魅力を知らなかった。そこで付け焼刃の知識と思い出を頼りに観光案内をすることにしたのである。だが結局思い出が先行して子どもの頃からよく行っていた高畠ワイナリーと伊澤そばに行くことにした。

当日、いつもは徒歩五分のワイナリーにメンバーを乗せて車で行った。メンバーは工場の中見られるんだ！ワイン入りアイスなんてある

んだ！といった新鮮みのある感想を口々にする。だが思えばそれは自分にとっては当たり前のことという認識でしかなかった。この後に行った伊澤そばもお店の雰囲気も素敵！今まで食べた漬物のなかで一番おいしい！と言われた時も同じだった。

そこで地元民ゆえの町に対する視野の狭さを思い知ると同時に、

高畠町の食文化の良い点を改めて理解できたのである。身近なところにも認識できないだけで素敵なものがたくさんある。

子どもの頃、出店目当てで来たいた青竹ちようちん祭りも、よそから新参者として店を出す側に立ったことでサブカル、竹あかりなど外来品の導入や、レクリエーション、神輿担ぎなど今まで気づけな

かった良さに気づくことができた。

いつもの食も、祭りも地元民とよそ者が一緒に見ることで新しいものを見る感動とそのものの背景を含む知識が共有され、鮮明な形を成しそれらのもつ良さを改めて真に感じ取れるのである。それを強く感じた高畠在住歴二十一年、今更の高畠観光であった。



文／^{けんじ}杉村 賢太郎
(^{けんのま}榊野目地区出身在住 / 学生)

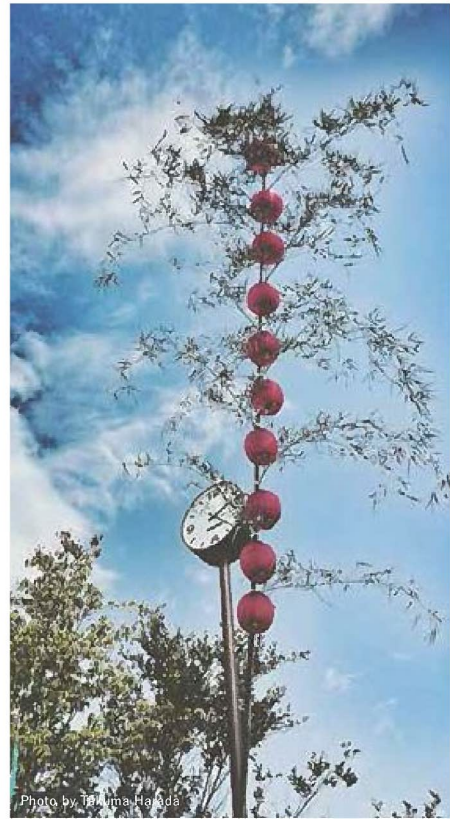


Photo by Takuma HaAda

酒処まほろば 春



文／^{りょう}山本 亮
(^{あいち}愛知県出身 / ^{ふた}二井宿地区在住 / ^{たか}高畠地域おこし協力隊)

「おはよう」の挨拶が聞けるのは、高畠が人との繋がり大切にしている町だから。でもその繋がりがあることは、決して珍しいことじゃない。きっと高畠以外でもそんな町はあるでしょう。私からは、ヨソモノ視点での「高畠の日常の魅力」を伝えたいと思います。これは二井宿の空き家暮らしでの実際の出来事です。

食べられる花のお話、春、二井宿の空き家に越してきて2日目の夕方。隣の家のおじいちゃん自宅の前で話していた時、「この花食べるから食べてみる」と言われ、家の庭に生えていたものを手渡された。山菜Ⅱ天ぶらのイメージがあったので、早速揚げてみる。「苦っっ！」と思いつつもビールのお供にはいいんだらうな！と思った。後日その話を同僚にすると、「それ茎を食べるんだよ」と言われた。おじいちゃん、茎を取ってくれてよかったのにな。

(フキノトウ談)

野菜づくりの指導のお話。せっかくだ庭つきの家に住むんだし、畑でもやってみよう。まずは草を抜いて、抜いて、抜いて。(5分の1終わった頃)もう無理！終わらん！というところで近所の区長に相談してみると、次の日仕事から帰ると、なんと機械で耕されていた。ありがとう区長さん。その後木やネットを頼りにじやがいもを植えていたある日、ご近所さんにああ違う！教えてあげると言われた。植える前に教えてもらえたらなあ。

私の生活は「ご近所さんには『非日常と刺激』を与えていたようです。野菜や山菜については詳しくても、それを知らない若者との関わり方は知らない。きつとお互いが勉強しよう時間だったのだ。

「うちの町、なんもないよ。」人からよく聞くその言葉は、半分不正解。町の魅力は立地や観光地の有無だけでなく、人の日常によつて築かれています。あなたその日常、ヨソモノには意外に魅力的に見えています。



酒処まほろば 秋

お酒が飲める歳になつてから「ボジョレーヌーボー」解禁したね」と言われる機会が増えた。もうそんな時期なんですね」と返しながら、思い浮かべるのは故郷の名前の刻まれたワインのラベル。秋の収穫祭は終わってしまつただろうが、芳醇な果実の香りを今年も懐かしく思う。

初めて高島ワイナリーを訪れたのは小学生のときだっただろうか。忙しなく動く機械をガラス越しに熱心に見つめる子ども、試飲用のぶどうジュースに夢中になる子ども、庭の果樹を興味深そうに覗き込む子ども、小さな私はどこにいたのだろうか。甘いものが大好きな私のことだから、カステラやソフトクリーム、美味しそうな看板と陳列された商品を見ては目を輝かせ、捻くれた性格だから、大人は美味いものばかり食べているなどつまらないことを考えていたに違いない。そしてきつと、「ワイン」という飲み物はさぞ大人な味がするのだろう」と流れる優雅さに、大人

と呼ばれる時を心待ちにしていたのだ。

お酒を飲めることが大人というわけではないと分かるのは、少なくとも二十歳のときではなかった。けれど十代の終わりは寂しさと共に喜びと新しい世界を連れてきてくれた。一番誕生日おめでとうと言ってもらえた二十歳の誕生日。病院で赤子が生まれたときのようにな、新しい世界が「あなたを待っていました」と両手を広げて祝福してくれる、大袈裟に言うところんな感じの特別な日、特別な一年。二十歳の私も、その日を思い出す今の私の方が感慨深い気持ちになる。心待ちにしていた。大人。って何だったんだらう、と子どもに私に訊ねてみたくもなる。けどそんなの無理なので。憧れていた自分の自分になれているのかも、分からないので。ともあえず前向きに生きる間もなくアラサーになる私は、故郷を離れた都会の地で、大好きな人達に、故郷の名前の書かれたワインを抱え「飲みまじょう」と笑うのです。



文／吾妻 (ペンネーム)

(和岡地区出身東京在住 / 会社員)

早朝五時前、地鳴りのような凄まじい音。さらにはチェーンが地面をこする音に驚き飛び起きた。ここは童話『泣いた赤鬼』のふるさと。金棒を引きずる鬼の襲来を思わせるその音の正体は、除雪車である。降り積もった雪を道路の両脇に寄せていく。車道と歩道の間には、人の身長を優に超える雪の壁ができあがった。

外に出ると、どの家にも雪かきをする人の姿が見える。老若男女を問わず、スコップやスノードンブで玄関から道路までの雪を片付けていた。高島で過ごす初めての冬、雪かきを経験するのにも初めてだった私はスコップを、実感した。スコップをいっばいの雪が持ち上がらない。持ち上げられないなら、とスノードンブで押して運ぼうとして、もびくともびくもない。こんなに骨の折れる作業を毎朝する高島の人に尊敬の念を抱いた。

そんな高島の人々のパワースは、どこからくるのだろうか。その答えを探るうちに、雪国ならではの食文化に触れることが出来た。冬の高島を代

表する食べ物、「干し物(乾物)」である。

雪深い高島では、長期保存食として干し物が重宝されてきた。山菜やずいきなど野菜の茎をはじめ、丸なす、ひょう、あけびなど様々な作物を干して収穫が少ない冬に備える。高島の農家さんはお天道様の下で干すことでビタミンDが増え、野菜の水分が飛ぶことで栄養が凝縮されること言っていた。冬場の日照時間が短い時でも、栄養分を補うことができるのも干し物の魅力のひとつである。

初めて作るならきのこが簡単だよと教えてもらい、舞茸の干し物に挑戦した。軽く洗い、適当な大きさに切って、ザルに並べる。天気の良い日に外に出し、1週間もすれば十分乾燥し、完成である。食べるときは水で1時間ほどつけておき、煮物やスープ、チャーハンなどに混ぜるとおいしかった。普通に食べるよりも菌ごたえがあり、噛むほどに味が染み出す。雪国で生活してきた先人たちの知恵、雪と暮らしていくパワースの源を感じられた気がした。

酒処まほろば 冬

文／島津 爽穂

(宮城県出身東京在住 / 会社員)



Photo by Takeshi Oura

名作
秘話

浜田広介の代表作「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」。
どちらも恐ろしいイメージを持つ「おに」「りゅう」が登場します。
ひろすけは、恐ろしいものも善意のものにしたいと考えていました。

「りゅうの目のなみだ」

関東大震災が起きた年、30歳になったひろすけは出版社を辞職し、文筆だけで生きていくことを決めました。その年に発表したのが「りゅうの目のなみだ」です。頑固で硬直であったひろすけの父親。近寄りたが父親をりゅうと重ねたのかもしれませんが。



「泣いた赤おに」

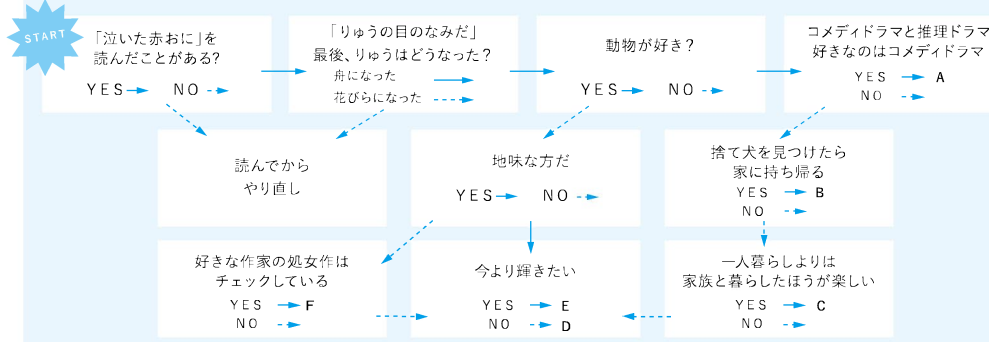
ひろすけは以前から恐ろしい存在とされるおにを善意のものとして表現したいと考えていました。あるとき、仕事で和歌山県を訪れました。そこで、高野山の宝物である国宝「恵喜童子」を拝観します。恵喜童子は「知恵をめぐらし、知恵をひとに与えて喜ぶ童子」でした。ひろすけは恵喜童子の姿を見て、「泣いた赤おに」の中で、新しいおにの姿を作り出したのでした。



もう一度読むひろすけ童話

高島町屋代地区出身の童話作家、浜田広介。小学校で読んだ作品も、大人になった今、読み直すと違った印象を持つかもしれません。

あなたにぴったりのひろすけ童話は？



- A 『ある島のさつね』**
楽しいお話が好きあなたにはこれ！
浜田広介記念館では、マジックスクリーンでお話を楽しむことができます。
- B 『よぶこどり』**
犬にならないように気をつけて！
拾った犬に乾着してしまうと犬になってしまうかも。
- C 『むくどりのゆめ』**
母を養育の心が表現されたお話。
ひろすけ自身の家族への思いが込められています。
- D 『光の星』**
ひかえめあなたも輝けるかも。
心あたたまるお話をぜひ。
- E 『ひとつの願い』**
あなたと同じ思いを抱く街灯のお話。
思いはかなうのでしょうか。
- F 『黄金の稲束』**
ひろすけ童話のはじまりも要チェック！
学生時代に新聞社の募集に応募し、一筆当選した作品。

チームの動向は
Facebook
を見てね！

01 | 高島農業女子
あねちゃん

anechan.noujyo@gmail.com



「たかはたフェア」

高島町の農業に携わる女性で結成した農業女子のグループあねちゃん。平成28年にはまほろば古の里歴史公園で農・食・音・創のお祭り、たかはたSAIを開催しました。あねちゃんのメンバーは女性の立場から農に真剣に携わり、高島でおいしいものを作り続けています。作っているものはまったく違うけれど、それぞれこだわりを持ちながら、正解のない農作業に打ち込んでいます。



「2017年あねちゃんメンバー」

記者コメント まったく農作業をしたことがない私にとっては、収穫以外の作業は見当がつかず。あねちゃんの作業にお邪魔してみると、力作業のハウスのビニール掛けから、広いハウスの中で小さなひとつひとつの枝を剪定する作業、繰り返される地道な作業の最後に行なわれる収穫は、ほんの一瞬。長い時間がかかっていること、作っている人の思いが込められていることをたまに思い出して、ご飯を食べてみるといつもよりおいしく感じられるかもしれません。

TEAM
★
TAKAHATA

まわりの感じ方は人それぞれ。楽しいことはない？ 仲間がいなくても仲間のいい仲間も。今まさに高島の発展を見たい！

03 | たかまる。

taka-maru@hotmail.com



高島町を一つのまるにしたい！高島の愛が高まる！そんなたかまる。「新しいわ！を作る」がコンセプト。高島を盛り上げたいという思いを持つ20代が集まっています。はとみね時のナイトワーク、旧高島一中でカラーガンイベントを開催しながら若者同士が交流する場づくりも行っています。今後も「わ！」と驚くような高島の魅力を発信する若者の輪・和が広がる企画を実施していきます。「高島が好きなたかまる」ならばメンバーでもイベント参加者でも大歓迎です！たかまる。と一緒に高島を楽しみましょう！！



「カラフルウォーズ」旧高島一中

02 | おれまか

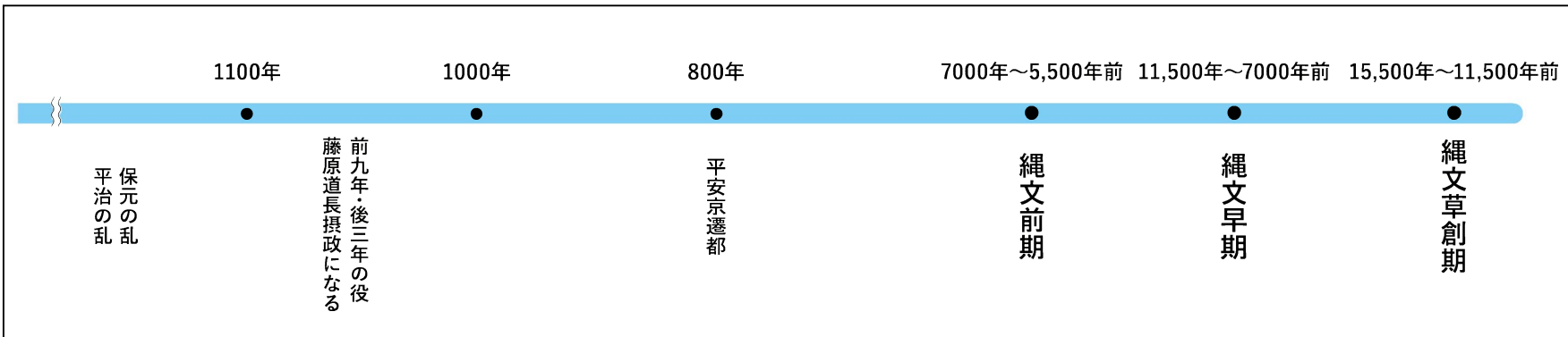
http://oremakama.com
Twitter: @oremakajp



アニメやゲームなどのコンテンツを活用し、高島町のPRや、イベントの企画・運営を行っている団体です。コスプレイベントの「レイヤーカレッジまほろば」やサブカルチャー複合イベント「ミコミコちょうちん祭」を開催する他にも、冬に行われる「ねほだれ大会」への参加や各種ボランティアなど、精力的に活動しています。イベントスタッフやメンバーはまだ募集中です！私達と一緒に活動してみませんか？高島の未来は「おれ」たちに「まか」せろ！



「レイヤーカレッジまほろば」旧高島四中

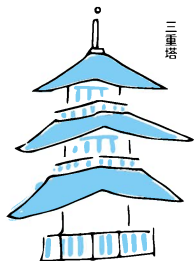


安久津八幡神社のはじまり

安久津八幡神社の境内には、はじめに後、八幡様を信仰していた源義家が東阿弥陀堂が建てられました。阿弥陀堂北に入ってきたことで、阿弥陀堂の敷地は天台宗の慈覚大師の悲願達成のために八幡社が建てられたといわれています。その

三重塔(仏塔)はお寺、仏教のシンボル! でも安久津八幡神社は…神社?

神々が存在するところとされた日本に仏教が入ってきました。神と仏との間に摩擦や対立が起こるのでは?と心配されましたが、神は仏が姿を変えて現れたものというふうの説明されるようになりました。各地で古来の神々を媒介として、仏にも触れることが出来ると考えられるようになり、安久津八幡神社もそのような考えのもと、神と仏に願いをこめる場所となりました。



高島城築城

この時代、奥州藤原氏が厩代荘(現在の高島町)を管理するようになります。平泉藤原氏の三代当主秀衡のいとこである種爪五郎季衡は、高島館(後の高島城)を築きます。



高島城は鐘のような見た目であったことから鐘ヶ城(かねがじょう)と呼ばれたといわれています。

徳一上人、亀岡文殊を開く

奈良の興福寺で学び、会津をはじめとする東北でも布教をはじめた。徳一上人(とくいちしょうにん) 古来の奈良仏教をすすめた法相宗(ほっそうしゅう)の高僧

あー、そっくり。文殊山(ぶんじうさん) 五台山(ごたいざん) 文殊菩薩(もんじゅぼさつ)が住まう五台山の山に似ているとして、亀岡文殊を建立したといわれている。

徳一上人は最澄が開祖である天台宗や空海が開祖である真言宗の教理を強く批判。そんな徳一の批判を克服する形で天台宗や真言宗は完成された。

論争は交友の深さの証拠でもあり、大聖寺は真言宗に入ることになる。徳一は教学論争を展開した偉大な仏教学者の一人である。

おんだし 押出遺跡

押出遺跡は、大谷地とよばれる低湿地帯に位置する縄文時代前期の集落遺跡です。「縄文のタイムカプセル」とも呼ばれ、湿地帯の地下2メートルに埋もれていた遺跡で、本来であれば土の中で腐ってしまう木製品、植物由来の資料や土器が良好な状態で発見されました。クリやクルミなどを原料に、携行食として作られたと考えられています。



国指定史跡

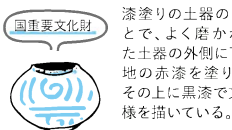
日向洞窟

狩りの拠点として使われたらしい!



緑色凝灰岩(グリーンタフ) 旧石器時代から縄文時代への移行期の石器や土器が発見され、移行期の様子を知るための重要な遺跡です。高島には多くの洞窟遺跡が存在しますが、理由のひとつに緑色凝灰岩(グリーンタフ)が露出した地形が考えられます。緑色凝灰岩の表面は風雨に弱いため侵食され、長い年月をかけ洞窟ができたのでしょう。

お宝発見番付



胴部がくびれる瓠(か)型で、くびれの土部分は四角形の形をしている、全国的にも例を見ない特異な形の彩漆土器。



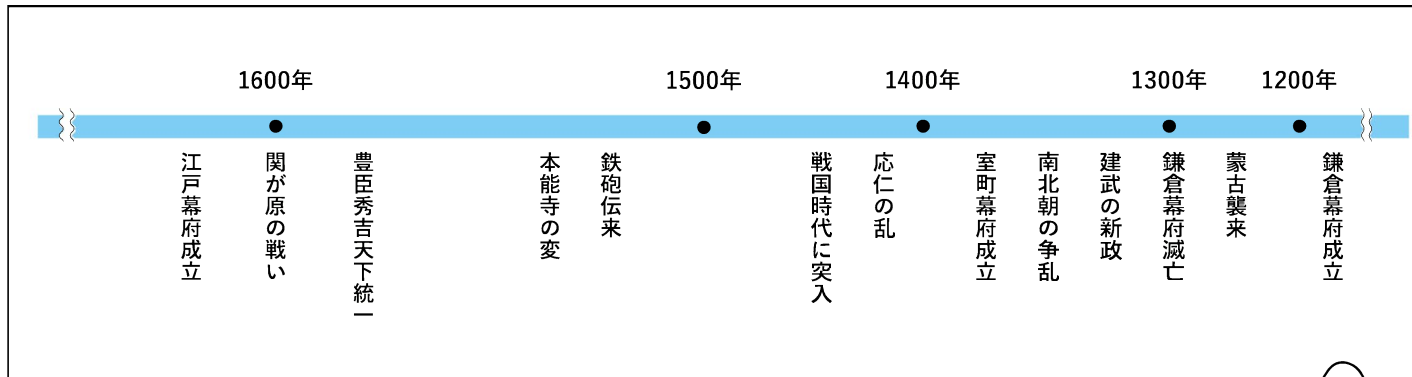
横綱 押出遺跡 彩漆土器



発見された当初、日本最古の頃の土器とされ、注目を集めた。現在では研究が進み、さらに古い時代の土器があったことがわかっているが、この土器の発見は、縄文時代に「草創期」という新しい時代区分が設定されるきっかけともなった。

横綱 日向洞窟 縄文線文土器

まほろばとは「周囲が山に囲まれた平地で、住みよい美しいところ」という意味。そんなまほろばの里の歴史を紐解いてみよう。



寛文事件 ファイル

— 上杉藩存続の大ピンチ —

上杉藩成立からおよそ六十年、当時8歳で家督を継いだ三代綱勝が急死する。跡継ぎがいなかった上杉家は、お家断絶の危機に！そんなとき、綱勝の妻の父である会津藩主保科正之が上杉藩に半減されました。

何万石って？

土地の生産力を米の収穫高に換算したものが石高。藩の力は石高で示されました。1万石以上の大名の領国が「藩」とされ、大名が支配する領地などを指します。各藩は経済的に幕府から独立して、行政権も持ちました。

高島はその減地の対象となったのですが、困窮した上杉藩は、屋代郷三万石(高島の周辺)の米沢藩預かりを願い出て、高島も米沢藩の徴税対象となりました。徴税が厳しくなり、農民の負担と不満が募ることに。二井宿の名主高梨利右衛門は、六十二ヶ条にわたって米沢藩の重税重圧政策を訴え、利右衛門は直訴の罪により、一の坂で処刑されました。

— 高梨利右衛門 —

利右衛門がかごで移された道には六地蔵、亀岡文殊には供養碑、二井宿小学校に副恩碑が建てられています。現在も二井宿では毎年8月に報恩供養が行われています。利右衛門に関する資料は残っていませんが、地元の人々によって現代まで伝えられています。利右衛門の精神は地域の地城を打ち、現在の地域繁栄にも影響を与えているでしょう。

織田信長の子孫、高島を治める!?

1767年幕府の命により、戦国大名として有名な織田信長を先祖とする織田信淳が高島城に入りました。幕府直轄地、米沢藩領地を繰り返していた屋代郷の一部である高島地区の一部は織田領となり、織田家が高島をおさめることになりましたが、高島での64年間、華々しい治政を繰り広げることはありませんでした。

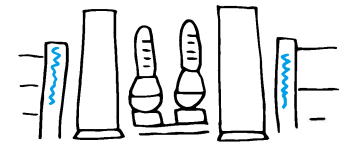
転 誰?



伊達氏が置賜を統治し200年。西暦1591年。伊達氏から蒲生氏へ高島の支配は移り変わります。蒲生氏の高島での活躍は、不明で謎に包まれた期間です。

結 上杉支配へ

蒲生氏の高島支配はわずか7年。支配は上杉氏へ。西暦1598年、皆さんご存じ上杉景勝が登場します。上杉景勝は、家臣直江兼続とともに、まちづくりと減封によって苦しくなった藩の財政の建て直しに力を注ぎました。景勝の家臣直江兼続は、西暦1600年に、安久津八幡神社に寄進をおこなっています。兼続はこの後亀岡文殊で歌の会を開催。いろいろな人の歌を納めます。この詩歌集は現在亀岡文殊宝物館で実物を見ることが可能です。



野手倉・九代伊達政宗の墓

九代政宗の墓が2つ?

実は野手倉にも伊達家に認められた九代伊達政宗の墓があります。



夏刈・九代伊達政宗の墓

2017年は伊達政宗生誕450年の記念すべき年。宮城県をはじめ政宗にゆかりのある場所で伊達家の旗を見た人も多いのでは？

高島の資福寺では、もう一人の政宗が幼いころ勉学に励みました。彼が戦国時代、独眼竜として名を馳せた十七代伊達政宗。政宗は西暦1591年に安久津八幡神社の社殿再建も実施。今では仙台のイメージが強い伊達氏も高島にゆかりがあるのです。



十七代伊達政宗

起 はじまり

鎌倉幕府の文官大江広元(鎌倉幕府創設に関わったインテリ)。その息子長井時広が現在の置賜地域の支配者となりました。その頃、置賜周辺の呼び名は長井荘。時広が中世の長井荘の礎を築いたのかもしれませんが。長井氏は資福寺を建立します。



大江広元

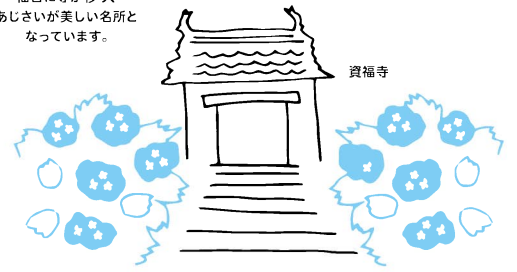
承 2人の政宗

置賜を長井氏が支配して200年。西暦1385年頃、長井氏から伊達氏へ支配のバトンが渡されました。時は、九代伊達政宗(横山政宗)のころ。現在彼の墓が高島町夏刈にあります。そう、その場所こそが資福寺跡。資福寺は長井氏から伊達氏へと受け継がれました!

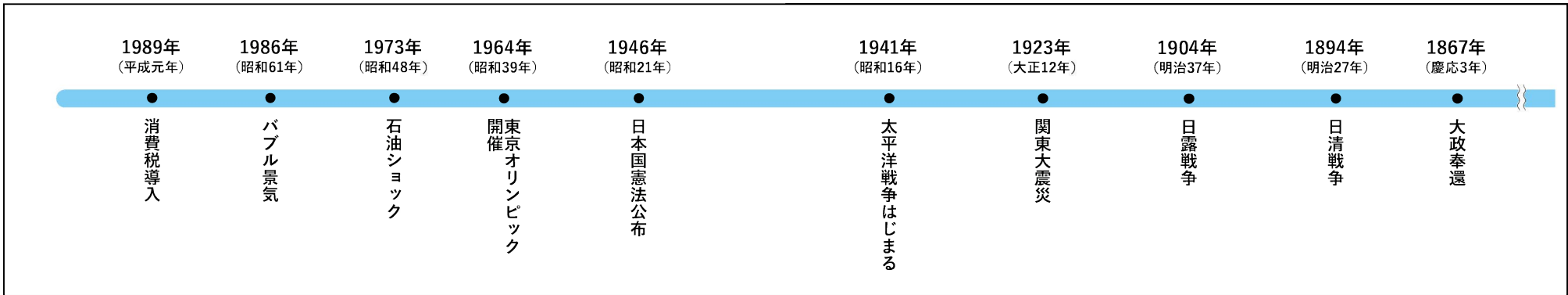


九代伊達政宗

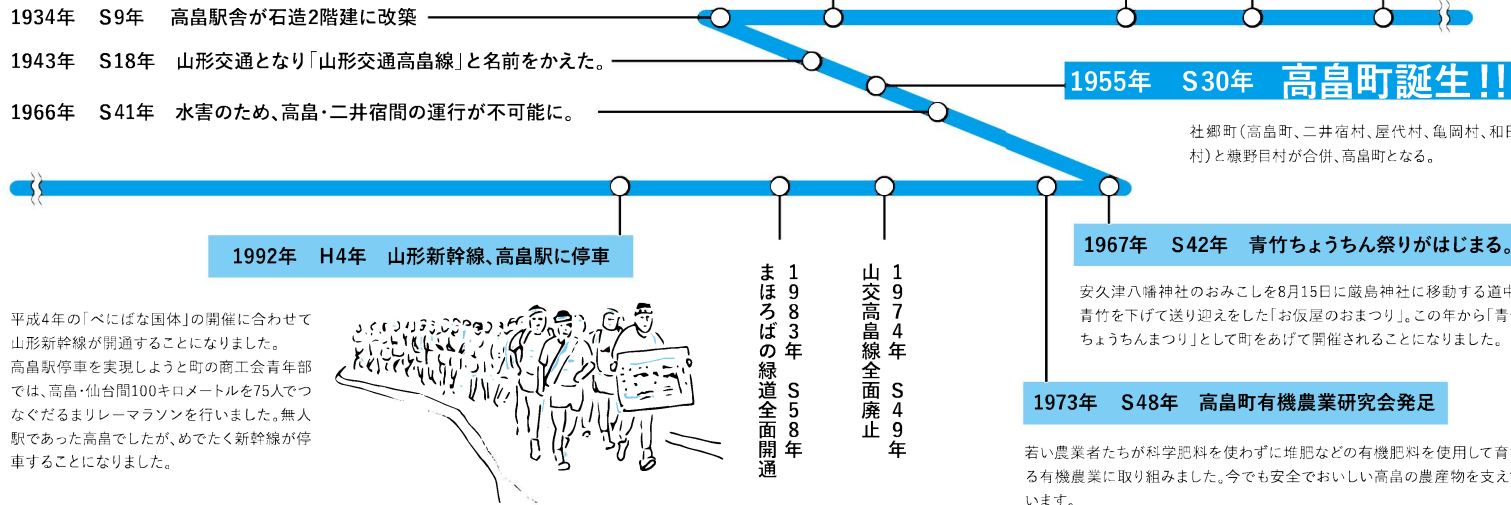
資福寺は現在、仙台に寺が移り、あじさいが美しい名所となっています。



資福寺



地元の有力者が株主となり、農産物、木材、木炭、鉱石、石材の輸送や、学生や働く人々の通勤通学に利用されました。



高島100年事件簿

まほろば小噺

玉龍院五百羅漢像一町指定文化財

玉龍院五百羅漢像は、約180年前に京都より海路酒田に入り、最上川を舟でのぼり高島町まで運ばれたと伝えられています。東日本大震災等で大きく損傷した仏像の修復作業を平成28年度から数年の計画で行っています。



明治天皇巡幸記

明治天皇は明治5年から18年もの歳月をかけ、全国を巡りました。明治14年、秋田から南下した明治天皇は山形を巡り、高島に入りました。高島の町にあった東置賜郡役所に宿泊し、現在の高島小学校、亀岡を尋ね、米沢に向かいました。郡役所では松茸を供えていたところ、満足げに「これは珍しい」とお手を触れられたらしい!



高島ぶどうの歴史

明治に入ると、当時の山形県令三島道庸によって、殖産興業が進められ、その一策として置賜地域でぶどうが試験栽培されるようになりました。大正時期、当時の和田村では、地元住民の救済事業として現在の立石地区の原野を開拓し、その土地をぶどう栽培に利用したのだとか。



■staff

Mariko Furuhata

(from Shiraoka, Saitama)

2年半前、ずっと住んでいた埼玉県から高島町に移り住みました。来た当初、小学校3、4年生で地域を学習するときを使う高島町の社会科副読本を読み、大人にもこの高島の教科書を届けたいと思いました。地域おこし協力隊として活動する中で、たくさんの地域の方に会い、話を聞き、さまざまな経験をしました。わたしだけでないいろいろな人の視点で高島を詰め込んだものを、これからを担う若い人に伝えたいと成人式で配布することにしました。この冊子を読んで、高島を思い出したり、考えたり、友達と話をするきっかけになれば幸いです。

Azusa Ono

(from Yashiro, Takahata)

屋代で生まれ育ち、現在は東京で生活をしています。ひょんなことから、この冊子のお手伝いをさせて貰うことになりました。この冊子のお手伝いをしている中で、高島で生まれ育ちながら、知らない事がたくさんありました。きっと、住んで当たり前になり過ぎて見過ごしていたんだなと思います。これを見てみなさんも知らないことがたくさんあったのではないのでしょうか？高島の新しい魅力の発見につながれば嬉しいです。



発行所 山形県高島町役場企画財政課
〒992-0392
山形県東置賜郡高島町大字高島 436 番地

発行日 平成 31 年 3 月 31 日 (第 2 版)

編集 高島町地域おこし協力隊 古畑茉莉子

デザイン・イラスト 小野梓

special thanks 高島町役場各課／各地区公民館／熱中小学校／昭和縁結び通り商店街／商工会青年部／浜田広介記念館／うきたむ風土記の丘考古資料館／高島町郷土資料館／本田農園(1・2 ページ)／勝萩原農園(6 ページ)／佐藤農園(15 ページ)／取材、寄稿にご協力いただいたみなさま／日ごろ地域おこし協力隊にご協力いただいているみなさま

学校名鑑

いつまでもキミの心に!

平成28年3月に高島町にあった4つの中学校は閉校し、高島中学校に統合されました。卒業生のみならず、地域のみならず、中学校にはどんな思い出がありますか。廃校となりましたが、これからも多くの人の心に残り続けるでしょう。

第2ボタン代わりに
スカーフを先輩に
ねだった!

**高島町立
第二中学校**

スキー教室が
ないのは
二中だけらしい!

ひるすけ先生って
呼ぶのも
二中だけらしい!

上級生は切るなりして
小さいきれいなリボンを
作っていた!

制服のスカーフが長くて
普通に結ぶともさました!

ザビエルがいたから
合唱祭が強かった!!

夜校ライトアップは自慢!
校を植えたのは、
かつての卒業生。

**高島町立
第一中学校**

紐をゆるめて
結ぶと怒られた!

土手を走らされたのは
いい思い出

留めるタイプのリボンで、
ブラウスのボタンは
全部閉めなきゃいけない
嫌だった!

制服が一枚だけ緑で
嫌だった!

体育館のギャラリーが
よかった!!

まほらで
合唱祭をした!

閉校となった学校は?

熱中小学校

熱中小学校

熱中小学校は、廃校となった時沢小学校を活用した大人の学校プロジェクトです。2015年10月にはじまった熱中小学校は、大人の学び舎として山形県内だけでなく、東京や宮城を中心に全国各地から人が集い、日常生活ではなかなか得られない交流、学びが得られる場所となっています。



TAKAHATA

めがね